

『一生懸命』幻の新座市議会報告第179弾!



たかむらともや

③ 高校生と英語民間試験

高校生達が怒るのも無理はありません。経済的格差、そして地域の格差が大学入試を左右している訳がないのです。それを「身の丈に合わせて頑張っ！」と発言した文部科学大臣の発言は異常としか言いようがありません。

問題は萩生田文部科学大臣だけではありません。教育関係の企業や団体から多額の政治献金を受け取り、そのシステムを導入しようとした下村前文科相と安倍首相にもその責任があります。

安倍晋三が設置した「教育再生実行会議」という私的諮問機関が民間試験の導入を取り上げ、その後、文部科学相の諮問機関「中央教育審議会」が提言し、2020年の導入に至ったのです。

多くの高校生達の人生に係る大学入試がそういう人達のせいで歪められてきたのです。

50年前、我々が大学生だった頃、国立大学の入学金は1万2000円でした。授業料は月に3000円です。どんなに貧しい家であっても、バイトをすれば何とか卒業できた時代でした。当時は当たり前だと思っていたのですが、それだけ日本という国が「教育」にお金をかけていた時代だったのです。

戦後の貧しい時代でしたが、勉強さえ頑張れば、借金をすることなく社会に出ることができました。

「派遣」という制度もありませんでしたから、贅沢をしなければ、若くても結婚し、安心して子育てができる社会だったのです。その時代も自民党が政権を握っていましたが、今の安倍政権のように弱者をとことん痛めつけるようなことはありませんでした。

声をあげてくれた高校生達の為には勿論、現役の大学生、中学生、小学生、そして小さな子ども達の為にも、どんな家庭に育っても借金なく大学まで行き社会に出られる国に戻さなくてははいけません。

そういう社会にする為に、今一番期待しているのが山本太郎です。政治に関心のある方は勿論、余り関心の無い方も、是非YouTubeで山本太郎の演説を聞いて欲しいと思います。僕は彼の演説を聞いて、感動して涙がでました。みなさんも是非!

2019年11月30日発行



石神井高校で2年先輩の丹羽光さん、50年後輩のひなたちゃん、万裕ちゃんです。久しぶりに母校のコートでテニスをした時の写真です。



たかやんのプロフィール



1954年、港区青山生まれ。

本名 たかむらともや

新宿区立西戸山小中学校卒。

新宿区百人町では有名な超悪ガキでPTAのおばちゃん達から嫌われていた。勉強も全くできなかったが、中二から伸び始め

る。友達と担任の河合隆慶先生の影響である。

都立石神井高から北大に進み大学3年の冬、突然「教師」を目指す。昭和52年4月新設校新座五中に赴任。五中・六中・二中で21年間担任を続け、幻の学級通信「一生懸命」を毎日書き続ける。

趣味はテニス・読書・音楽・川掃除・駅立ち・英語・トレーニング・子ども達との学び。

好きな言葉は「継続は力なり」「経世済民」

好きな政治家はホセ・ムヒカ、バーニー・サンダース

田中角栄、翁長雄志、山本太郎。好きな女優は新垣結衣、綾瀬はるか、ハン・ヒョジュ。

山本太郎に応援はされないが、山本太郎を本気で応援すると最近心に決めた。

写真は中三になった娘の望来です。練習がきつくて、勉強しながらコックリすることもあります。練習の厳しさを知っているので笑って見えています。



たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ ポスター掲示のお願い

僕のポスターではありません。山本太郎のポスターを張らせて頂けるお宅を探しています。僕自身はずっと「本当の無所属」でしたし、これからも、どこかの政党に所属する気はありません。

ただ、彼を応援したくなったのです。YouTubeの演説を聞いて、感動して・・・彼になら、日本の未来を託せるのではないかな・・・彼が国会で大活躍すれば、子ども達が安心して生きていける日本になる可能性があるのではないかな。本気でそう思うようになったのです。

山本太郎がポスターで訴える政策は8つです。

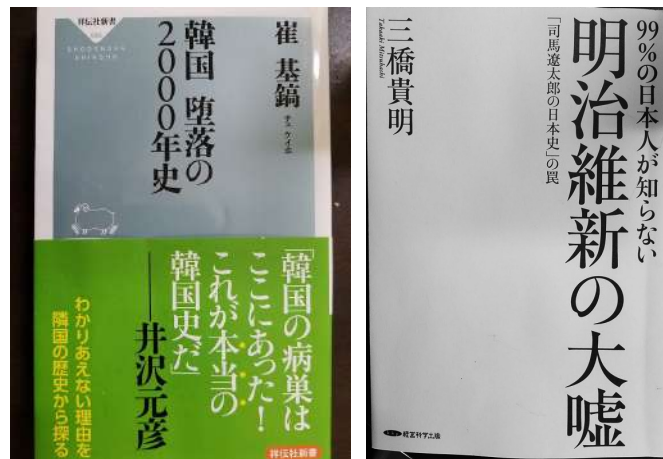
1. 消費税は廃止
2. 全国一律！最低賃金1500円「政府が補償」
3. 奨学金徳政令
4. 公務員増やします
5. 一次産業戸別所得補償
6. 「トンデモ法」の見直し・廃止
7. 辺野古新基地建設中止
8. 原発即時禁止・被爆させない

これらの多くが、僕がこの「一生懸命」に書いてきたことと一致しているのです。

最悪の消費税を廃止して、景気を回復させることや教育ローンで苦しむ人達をその借金返済の苦しみから解放することは勿論、緊縮財政を否定し、財政出動をして、経済を活性化し、実質賃金を上げていくという考え方も同じです。「トンデモ法」の見直し・廃止というのは、ここに何度も書いてきたTPPや種子法、水道法などを見直したり、廃止したりしようと言っている訳です。日米FTAについても山本太郎は同じ考えですし、緊縮財政は駄目だ！というところも同じです。連絡をお待ちしています。



③ 最近読んで心に残った本



「韓国墮落の2000年史」は韓国が嫌いだから読んだ本ではありません。韓国の歴史、朝鮮半島の歴史を学びたくて読んだ本です。高天原が韓国南部にあった説や日韓両国民が同祖同根だった説、そして中国の属国になり下がった新羅と李氏朝鮮のことなど、韓国病と言われる韓国の病巣の原点が学べた本でした。そして、現在の日本がアメリカの属国になり下がっていることを再認識した本でもありました。

「明治維新の大嘘」は歴史だけではなく経済が学べる本です。過去の日本がいかに関係性で立ち向かってきたかが学べる本です。そして、これからの日本の進むべき道を教えてくれる本でもあります。「物」「金」「人」が自由に出入りする国になってはいけません。主権の無い国に未来はありません。TPPや日米FTA、制限のない移民政策には反対しなくてはならないのです。

③ 桜を見る会

腹が立つことばかりです。「国民の税金」で支援者を招待したこと。追及されると「私は関与していない」「名簿は破棄」したと口を開ければ嘘ばかり言うこと。さらに追及されると「来年は中止」と幕引きをはかろうとするのだから、滅茶苦茶です。

そして、心配なのが、その裏で今月19日に日米FTAが締結されそうなことです。芸能人の麻薬や結婚、そしてオリンピックのマラソンや桜を見る会でザワザワしている間に、TPPよりも危険な日米FTAが何事もなかったかのように締結されてしまうのでは国民はたまったものではありません。

台風の被災者をはじめ、常に世の中の苦しんでいる方達に目を向け、そして国会に注目しましょう。

読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください m(_ _)m